

## 2024年10月～12月期中小企業景況調査結果

### 中小企業の景況感、足踏み

-業績判断 D.I. で前期実績を下回るもののほぼ横ばいで推移-

#### ◇調査結果の概要

今期は、売上及び採算の各 D.I. で前期実績を上回り、業況判断 D.I. で前期実績を下回るもののほぼ横ばいで推移。(全産業平均)。

来期は、業況判断 D.I. で前期実績を上回り、売上及び採算の各 D.I. 前期実績を下回る見通し(全産業平均)。

#### 指標別の状況(全産業平均)

○業況判断 D.I.は、前期実績△26.5から△26.6(0.1ポイント減)となり、来期は△25.9(0.7ポイント増)となる見通し。

○売上 D.I.は、前期実績△22.0から△21.7(0.3ポイント増)となり、来期は△22.1(0.4ポイント減)となる見通し。

○採算 D.I.は、前期実績△5.8から△3.3(2.5ポイント増)となり、来期は△3.7(0.4ポイント減)となる見通し。

#### 産業別の状況

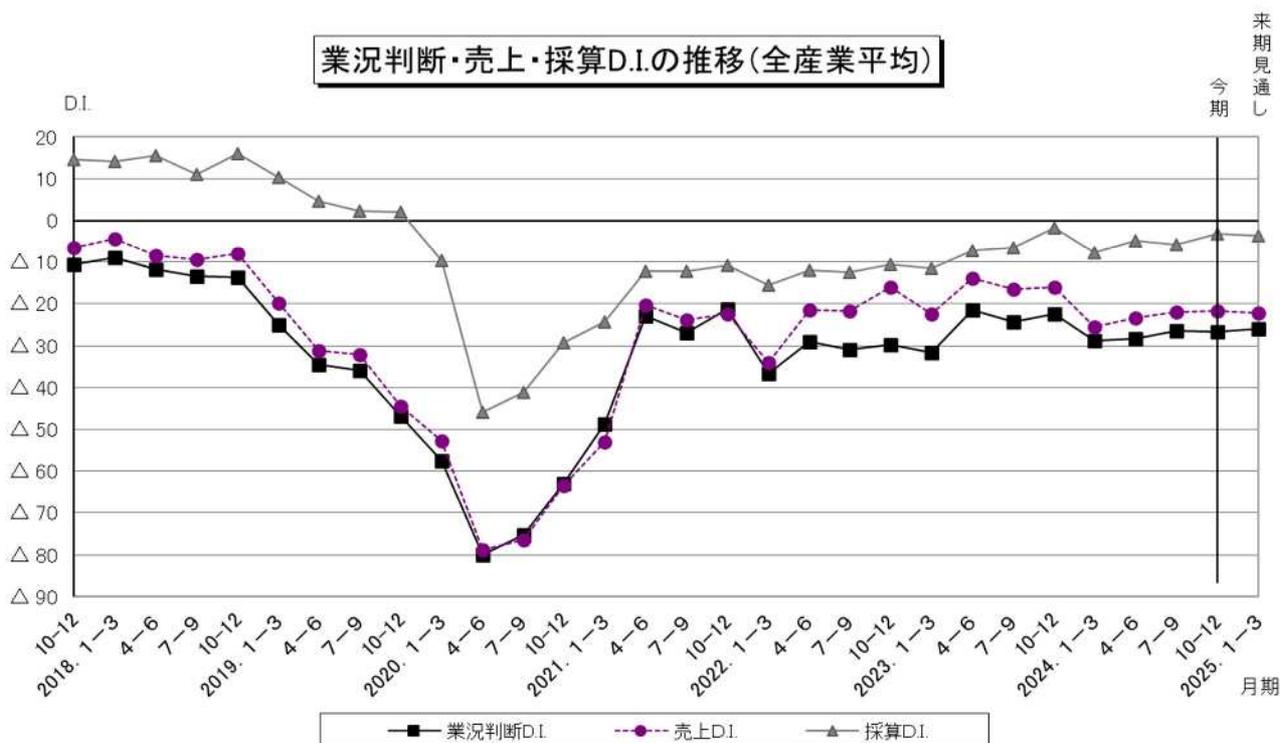
○製造業では、採算 D.I.で前期実績を上回り、業況判断及び売上 D.I.で前期実績を下回った。

○卸・小売業では、売上及び採算 D.I.で前期実績を上回り、業況判断 D.I.で前期実績を下回った。

○建設業では、採算 D.I.で前期実績を上回り、業況判断及び売上 D.I.で前期実績を下回った。

○サービス業では、業況判断及び売上 D.I.で前期実績を上回り、採算 D.I.で前期実績を下回った。

業況判断・売上・採算D.I.の推移(全産業平均)



調査時期:2024年12月1日から12月10日まで  
調査対象:中小企業2,000社(回答社数1021社 回答率51.1%)

業況判断D. I. の推移

業種	2023年10-12月期	2024年1-3月期	2024年4-6月期	2024年7-9月期	2024年10-12月期 (今期)	2025年1-3月期 (来期)
全産業	△ 22.4 (△ 16.4)	△ 28.9 (△ 19.4)	△ 28.3 (△ 17.2)	△ 26.5 (△ 20.8)	△ 26.6 (△ 19.9) ↘	△ 25.9 ↗
製造業	△ 20.5 (△ 13.2)	△ 33.7 (△ 13.6)	△ 29.7 (△ 17.4)	△ 27.5 (△ 19.2)	△ 27.6 (△ 18.8) ↘	△ 23.7 ↗
卸・小売業	△ 32.8 (△ 30.0)	△ 26.0 (△ 32.4)	△ 35.3 (△ 20.7)	△ 35.2 (△ 31.1)	△ 35.3 (△ 27.7) ↘	△ 34.5 ↗
建設業	△ 23.9 (△ 12.5)	△ 14.1 (△ 25.4)	△ 13.4 (△ 17.2)	△ 9.5 (△ 19.4)	△ 11.9 (△ 10.9) ↘	△ 28.3 ↘
サービス業	△ 9.6 (△ 7.5)	△ 15.2 (△ 21.1)	△ 11.9 (△ 8.1)	△ 8.8 (△ 7.1)	△ 8.4 (△ 12.9) ↗	△ 17.9 ↘

( ) 内は1期前における当期見通し

売上D. I. の推移

業種	2023年10-12月期	2024年1-3月期	2024年4-6月期	2024年7-9月期	2024年10-12月期 (今期)	2025年1-3月期 (来期)
全産業	△ 16.1 (△ 11.6)	△ 25.4 (△ 16.7)	△ 23.3 (△ 16.4)	△ 22.0 (△ 20.1)	△ 21.7 (△ 18.5) ↗	△ 22.1 ↘
製造業	△ 12.8 (△ 9.2)	△ 30.8 (△ 11.3)	△ 24.7 (△ 16.4)	△ 23.3 (△ 18.7)	△ 23.6 (△ 18.0) ↘	△ 21.7 ↗
卸・小売業	△ 25.9 (△ 21.0)	△ 22.3 (△ 25.9)	△ 29.5 (△ 20.3)	△ 26.2 (△ 28.6)	△ 24.1 (△ 26.6) ↗	△ 24.7 ↘
建設業	△ 15.5 (△ 6.3)	△ 1.6 (△ 21.1)	1.5 (△ 10.9)	△ 14.1 (△ 19.4)	△ 18.3 (△ 10.9) ↘	△ 21.7 ↘
サービス業	△ 14.8 (△ 8.4)	△ 13.4 (△ 26.3)	△ 14.9 (△ 10.8)	△ 7.8 (△ 10.1)	△ 5.3 (△ 5.9) ↗	△ 18.9 ↘

( ) 内は1期前における当期見通し

採算D. I. の推移

業種	2023年10-12月期	2024年1-3月期	2024年4-6月期	2024年7-9月期	2024年10-12月期 (今期)	2025年1-3月期 (来期)
全産業	△ 1.7 (△ 0.5)	△ 7.6 (△ 1.1)	△ 4.8 (0.0)	△ 5.8 (△ 2.2)	△ 3.3 (△ 1.7) ↗	△ 3.7 ↘
製造業	△ 0.7 (0.3)	△ 11.5 (0.6)	△ 6.2 (△ 0.9)	△ 8.2 (△ 2.3)	△ 4.9 (△ 3.7) ↗	△ 5.4 ↘
卸・小売業	△ 12.7 (△ 12.6)	△ 10.4 (△ 10.9)	△ 12.0 (△ 6.3)	△ 12.1 (△ 11.7)	△ 10.3 (△ 10.9) ↗	△ 8.1 ↗
建設業	1.4 (19.0)	20.3 (4.2)	24.2 (9.4)	22.6 (18.2)	23.7 (23.8) ↗	6.8 ↘
サービス業	15.7 (11.2)	5.4 (7.9)	3.0 (13.5)	8.8 (8.1)	6.3 (18.8) ↘	9.6 ↗

( ) 内は1期前における当期見通し

設備投資実施率の推移

業種	2023年10-12月期	2024年1-3月期	2024年4-6月期	2024年7-9月期	2024年10-12月期 (今期)	2025年1-3月期 (来期)
全産業	28.9% (27.4%)	28.5% (29.6%)	27.6% (29.3%)	27.7% (25.4%)	27.5% (25.2%) ↘	26.9% ↘
製造業	33.0% (30.9%)	33.1% (35.9%)	30.9% (34.6%)	31.7% (29.8%)	29.9% (29.8%) ↘	30.3% ↗
卸・小売業	19.7% (20.2%)	19.0% (18.1%)	19.5% (19.5%)	21.1% (15.5%)	21.1% (15.7%) →	17.9% ↘
建設業	29.6% (25.0%)	26.6% (18.3%)	26.9% (20.3%)	23.4% (21.2%)	30.5% (25.0%) ↗	25.0% ↘
サービス業	24.1% (23.4%)	22.3% (24.1%)	24.8% (23.4%)	20.8% (21.2%)	25.3% (18.6%) ↗	27.4% ↗

( ) 内は1期前における当期見通し

# 今期（2024年10月～12月期）の実績

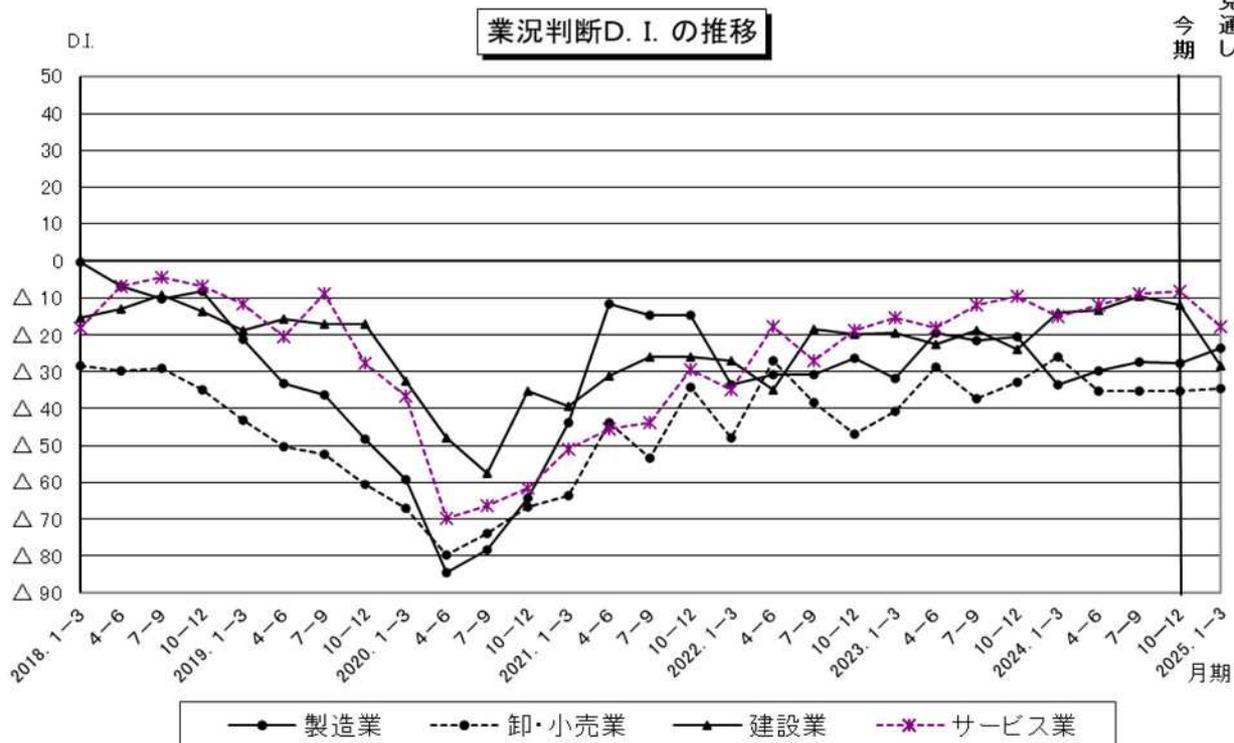
## 1 業況判断D. I.

業種	2023. 10-12	2024. 1-3	2024. 4-6	2024. 7-9	2024. 10-12(今期)	2025. 1-3(来期)
全産業	△ 22.4	△ 28.9	△ 28.3	△ 26.5	↘ △ 26.6	↗ △ 25.9
製造業	△ 20.5	△ 33.7	△ 29.7	△ 27.5	↘ △ 27.6	↗ △ 23.7
食料品	12.7	6.3	6.6	0.0	↘ △ 3.6	↗ 0.0
繊維工業	△ 32.0	△ 39.7	△ 44.1	△ 44.9	↗ △ 32.2	↗ △ 23.7
木材・木製品	△ 28.9	△ 28.9	△ 50.0	△ 50.0	↗ △ 44.4	↗ △ 38.9
家具・装備品	△ 35.7	△ 50.0	△ 36.4	△ 69.2	↗ △ 33.3	↗ △ 25.0
紙・加工品	△ 14.3	△ 40.6	△ 31.3	△ 23.3	↘ △ 40.6	↗ △ 33.3
印刷	△ 60.0	△ 45.8	△ 42.9	△ 46.2	↗ △ 42.3	→ △ 42.3
化学・ゴム	△ 10.2	△ 45.5	△ 10.3	△ 11.1	↘ △ 17.4	→ △ 17.4
窯業・土石	△ 44.2	△ 33.3	△ 38.3	△ 48.0	↗ △ 31.3	↘ △ 41.7
鉄鋼・非鉄	△ 31.6	△ 50.0	△ 54.3	△ 52.4	↘ △ 55.6	↗ △ 40.7
金属製品	△ 27.2	△ 45.9	△ 44.7	△ 35.9	↗ △ 28.3	↘ △ 28.6
一般・精密機器	△ 33.3	△ 23.6	△ 9.4	1.9	↘ △ 18.2	↗ △ 9.1
電気機器	△ 31.4	△ 43.3	△ 48.5	△ 20.7	↘ △ 24.2	↗ △ 15.2
輸送機器	17.1	△ 22.0	△ 8.0	△ 5.0	↘ △ 21.4	↗ △ 12.9
卸・小売業	△ 32.8	△ 26.0	△ 35.3	△ 35.2	↘ △ 35.3	↗ △ 34.5
卸売業	△ 30.3	△ 22.4	△ 32.5	△ 32.0	↘ △ 33.1	↗ △ 23.6
小売業	△ 36.5	△ 31.6	△ 40.0	△ 39.8	↗ △ 38.1	↘ △ 49.0
建設業	△ 23.9	△ 14.1	△ 13.4	△ 9.5	↘ △ 11.9	↘ △ 28.3
建築業	△ 20.8	△ 10.0	△ 7.9	△ 5.1	↘ △ 18.8	↘ △ 36.4
土木業	△ 30.4	△ 20.8	△ 20.7	△ 16.7	↗ △ 3.7	↘ △ 18.5
サービス業	△ 9.6	△ 15.2	△ 11.9	△ 8.8	↗ △ 8.4	↘ △ 17.9
物品賃貸業	△ 2.3	△ 17.4	△ 5.1	△ 2.8	↘ △ 16.2	↘ △ 21.6
情報サービス業	△ 16.7	△ 8.2	△ 19.1	△ 14.6	↗ △ 4.4	↘ △ 15.6
広告業	△ 5.6	△ 29.4	△ 6.7	△ 5.6	↗ 0.0	↘ △ 15.4

※ 業況判断D.I.は、前年同期と比べて総合的な景況判断が「好転」したとする企業割合から「悪化」したとする企業割合を差し引いた値。

※ 一般・精密機器は、日本標準産業分類上のはん用機器、生産用機器、業務用機器を指す。

来期見通し

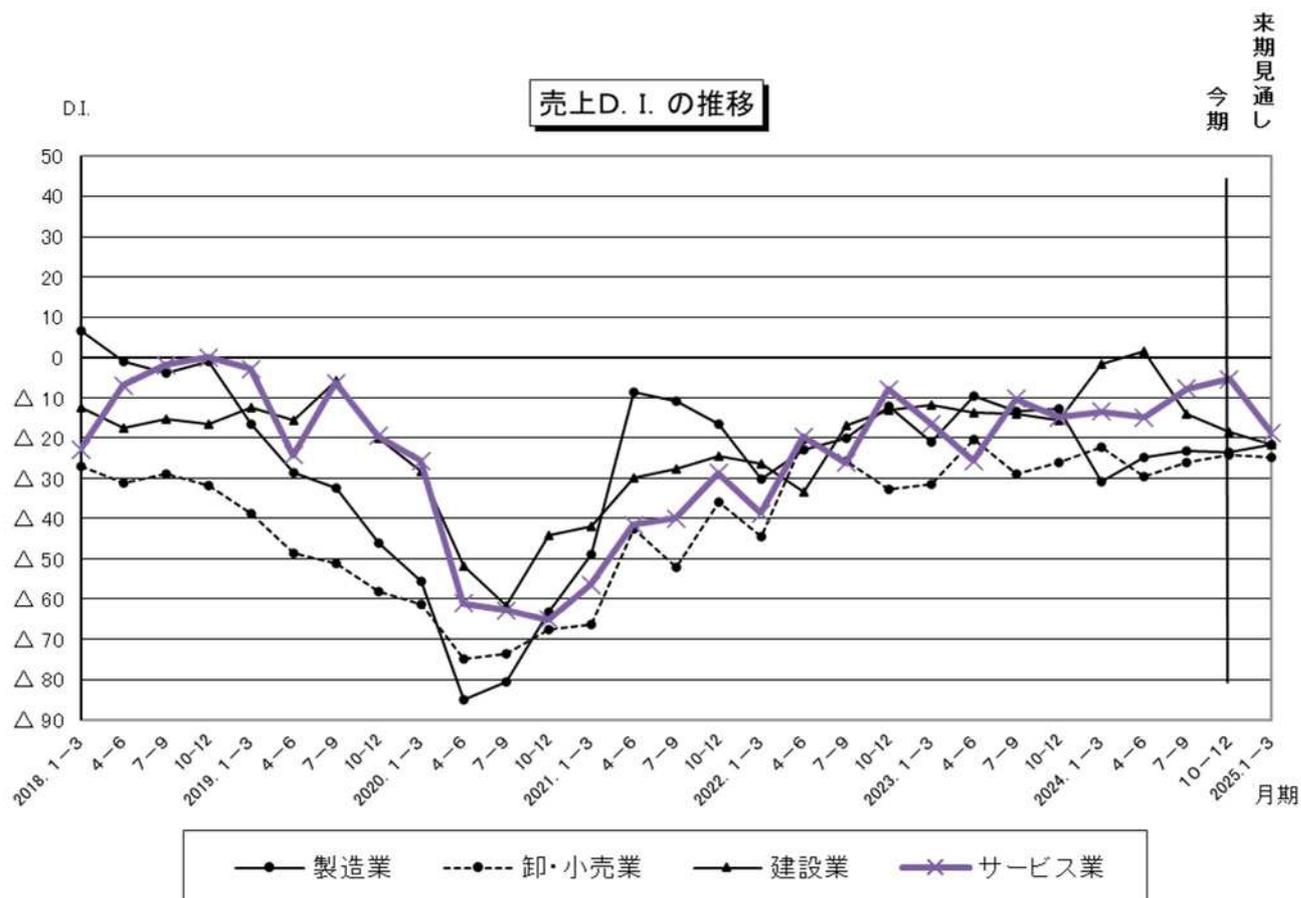


## 2 売上D.I.

業種	2023. 10-12	2024. 1-3	2024. 4-6	2024. 7-9	2024. 10-12(今期)	2025. 1-3(来期)
全産業	△ 16.1	△ 25.4	△ 23.3	△ 22.0	↗ △ 21.7	↘ △ 22.1
製造業	△ 12.8	△ 30.8	△ 24.7	△ 23.3	↘ △ 23.6	↗ △ 21.7
食料品	27.0	11.1	21.3	10.8	↗ 16.4	↘ 9.1
繊維工業	△ 24.0	△ 36.5	△ 39.7	△ 40.6	↗ △ 30.5	↗ △ 27.1
木材・木製品	△ 44.4	△ 36.8	△ 50.0	△ 45.0	↘ △ 50.0	→ △ 50.0
家具・装備品	△ 28.6	△ 28.6	△ 27.3	△ 61.5	↗ △ 25.0	→ △ 25.0
紙・加工品	17.1	△ 15.6	△ 12.5	△ 26.7	↘ △ 28.1	↘ △ 30.0
印刷	△ 60.0	△ 54.2	△ 50.0	△ 57.7	↗ △ 50.0	↗ △ 34.6
化学・ゴム	△ 1.7	△ 40.0	△ 13.8	5.6	↘ △ 6.5	↘ △ 8.7
窯業・土石	△ 27.5	△ 35.4	△ 38.3	△ 50.0	↗ △ 29.2	↘ △ 35.4
鉄鋼・非鉄	△ 23.7	△ 52.9	△ 42.9	△ 50.0	↗ △ 48.1	↗ △ 33.3
金属製品	△ 22.4	△ 43.6	△ 29.3	△ 29.5	↗ △ 29.1	↗ △ 28.6
一般・精密機器	△ 29.4	△ 16.1	△ 17.0	1.9	↘ △ 15.9	↗ △ 9.1
電気機器	△ 20.0	△ 40.0	△ 48.5	△ 27.6	↗ △ 21.9	↗ △ 18.2
輸送機器	23.2	△ 22.9	△ 9.2	0.0	↘ △ 17.1	↗ △ 10.0
卸・小売業	△ 25.9	△ 22.3	△ 29.5	△ 26.2	↗ △ 24.1	↘ △ 24.7
卸売業	△ 22.6	△ 15.6	△ 24.5	△ 17.6	↘ △ 18.9	↗ △ 16.5
小売業	△ 30.8	△ 32.6	△ 37.8	△ 38.8	↗ △ 30.9	↘ △ 35.4
建設業	△ 15.5	△ 1.6	1.5	△ 14.1	↘ △ 18.3	↘ △ 21.7
建築業	△ 8.3	5.0	10.5	△ 15.0	↘ △ 24.2	↘ △ 30.3
土木業	△ 30.4	△ 12.5	△ 10.3	△ 12.5	↗ △ 11.1	→ △ 11.1
サービス業	△ 14.8	△ 13.4	△ 14.9	△ 7.8	↗ △ 5.3	↘ △ 18.9
物品賃貸業	△ 11.6	△ 13.0	△ 5.1	8.3	↘ △ 5.4	↘ △ 21.6
情報サービス業	△ 20.4	△ 4.1	△ 19.1	△ 22.9	↗ △ 4.4	↘ △ 20.0
広告業	△ 5.6	△ 41.2	△ 26.7	0.0	↘ △ 7.7	→ △ 7.7

※ 売上D.I.は、前年同期と比べて売上が「増加」したとする企業割合から「減少」したとする企業割合を差し引いた値。

※ 一般・精密機器は、日本標準産業分類上のはん用機器、生産用機器、業務用機器を指す。

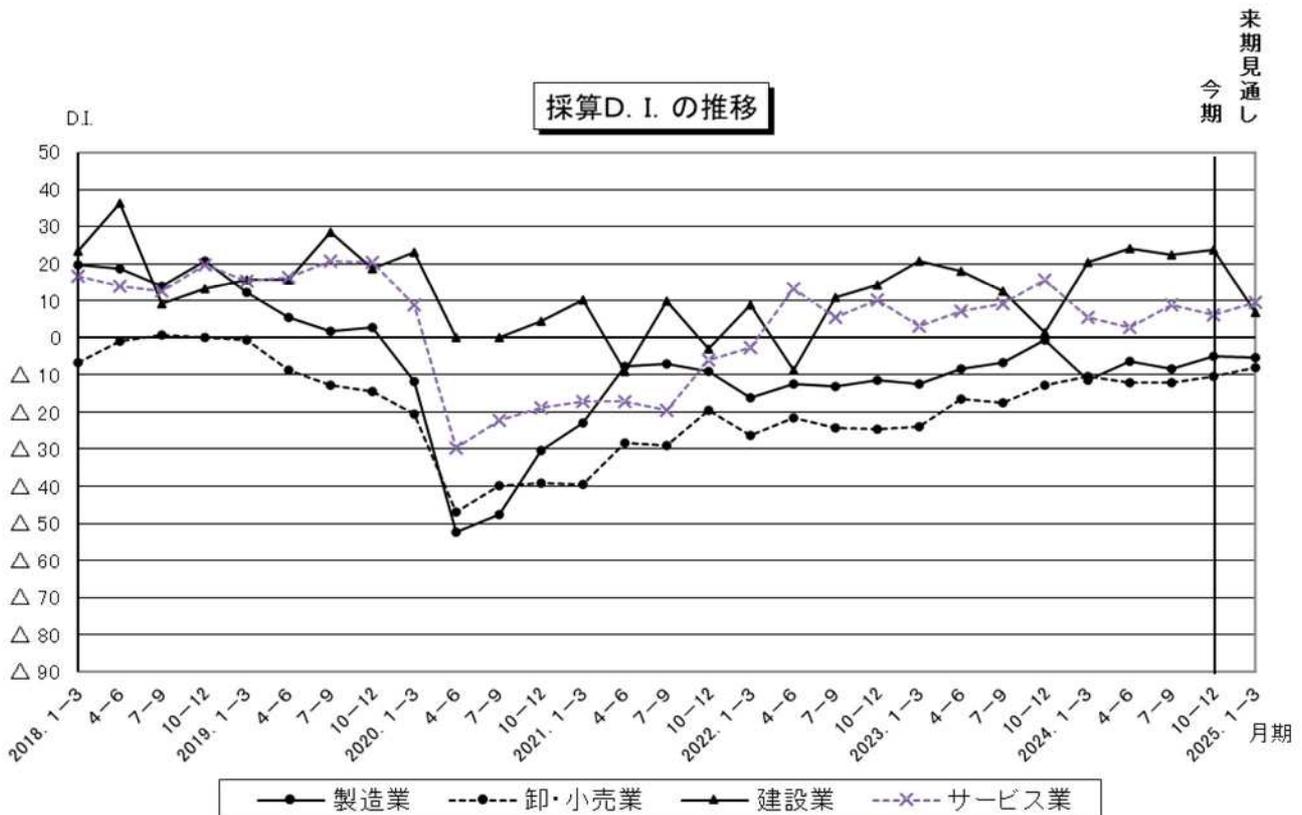


### 3 採算D. I.

業種	2023. 10-12	2024. 1-3	2024. 4-6	2024. 7-9	2024. 10-12(今期)	2025. 1-3(来期)
全産業	△ 1.7	△ 7.6	△ 4.8	△ 5.8	↗ △ 3.3	↘ △ 3.7
製造業	△ 0.7	△ 11.5	△ 6.2	△ 8.2	↗ △ 4.9	↘ △ 5.4
食料品	19.0	9.7	18.0	15.4	↘ 7.3	↗ 10.9
繊維工業	△ 28.0	△ 19.0	△ 16.2	△ 18.8	↗ △ 13.6	→ △ 13.6
木材・木製品	△ 20.5	△ 15.8	△ 17.4	△ 35.0	↗ △ 22.2	↗ △ 19.4
家具・装備品	△ 21.4	△ 7.1	△ 36.4	△ 76.9	↗ △ 41.7	↗ △ 16.7
紙・加工品	11.4	0.0	△ 6.3	△ 3.3	↗ 3.1	↘ △ 23.3
印刷	△ 24.0	△ 45.8	△ 39.3	△ 38.5	↗ △ 26.9	↗ △ 19.2
化学・ゴム	22.0	3.6	13.8	18.5	↘ 17.8	↘ 13.0
窯業・土石	△ 11.5	△ 14.6	△ 10.6	△ 32.0	↗ △ 22.9	↗ △ 16.7
鉄鋼・非鉄	△ 7.9	△ 23.5	△ 2.9	△ 4.8	↘ △ 7.4	↗ 3.7
金属製品	△ 7.3	△ 28.8	△ 18.8	△ 15.9	↗ △ 12.8	↘ △ 13.7
一般・精密機器	9.8	8.9	△ 7.5	5.8	↗ 25.0	↘ 11.4
電気機器	△ 8.6	△ 13.3	△ 15.2	△ 17.2	↗ 0.0	↘ △ 6.3
輸送機器	25.6	△ 3.6	16.1	16.3	↘ 4.3	↗ 7.1
卸・小売業	△ 12.7	△ 10.4	△ 12.0	△ 12.1	↗ △ 10.3	↗ △ 8.1
卸売業	6.5	0.0	1.3	2.0	↗ 7.1	↗ 7.9
小売業	△ 41.3	△ 26.6	△ 34.4	△ 33.0	→ △ 33.0	↗ △ 29.2
建設業	1.4	20.3	24.2	22.6	↗ 23.7	↘ 6.8
建築業	10.4	17.5	32.4	18.4	↘ 3.1	↘ △ 15.6
土木業	△ 17.4	25.0	13.8	29.2	↗ 48.1	↘ 33.3
サービス業	15.7	5.4	3.0	8.8	↘ 6.3	↗ 9.6
物品賃貸業	34.9	19.6	20.5	27.8	↘ 13.5	↘ 5.4
情報サービス業	1.9	0.0	△ 12.8	△ 2.1	↗ 6.7	↗ 16.7
広告業	11.1	△ 18.8	6.7	0.0	↘ △ 15.4	↗ 10.9

※ 採算D.I.は、当期採算が「黒字」とする企業割合から「赤字」とする企業割合を差し引いた値。

※ 一般・精密機器は、日本標準産業分類上のはん用機器、生産用機器、業務用機器を指す。

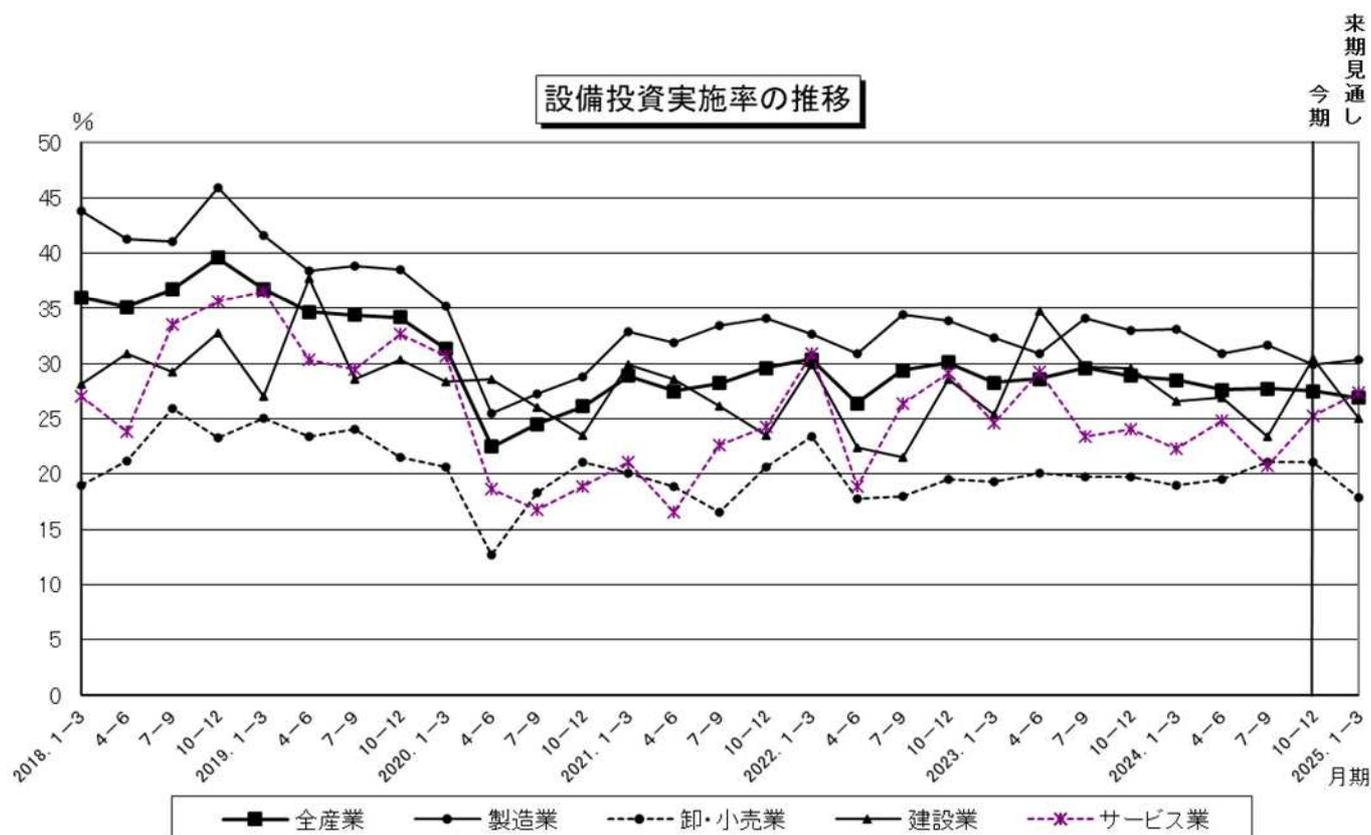


#### 4 設備投資実施率

業種	2023. 10-12	2024. 1-3	2024. 4-6	2024. 7-9	2024. 10-12(今期)	2025. 1-3(来期)
全産業	28.9	28.5	27.6	27.7	↘ 27.5	↘ 26.9
製造業	33.0	33.1	30.9	31.7	↘ 29.9	↗ 30.3
食料品	41.3	40.3	45.9	47.7	↘ 47.3	↘ 43.6
繊維工業	20.0	22.2	19.1	20.3	↘ 15.3	↗ 22.0
木材・木製品	18.6	18.4	10.9	15.0	↘ 5.7	↘ 5.6
家具・装備品	42.9	28.6	54.5	23.1	↗ 33.3	→ 33.3
紙・加工品	31.4	38.7	31.3	26.7	↗ 34.4	↘ 33.3
印刷	20.0	20.8	10.7	11.5	↗ 19.2	↗ 28.0
化学・ゴム	44.1	43.6	34.5	37.0	↘ 32.6	↗ 41.3
窯業・土石	32.7	35.4	38.3	26.0	↗ 35.4	↘ 33.3
鉄鋼・非鉄	28.9	26.5	31.4	23.8	↗ 37.0	→ 37.0
金属製品	31.5	29.3	26.3	33.3	↘ 27.8	↘ 27.6
一般・精密機器	25.5	33.9	30.2	32.7	↘ 29.5	↘ 27.3
電気機器	28.6	23.3	24.2	20.7	↘ 18.2	↗ 21.9
輸送機器	52.4	48.2	47.1	51.3	↘ 42.9	↘ 37.1
卸・小売業	19.7	19.0	19.5	21.1	→ 21.1	↘ 17.9
卸売業	19.4	13.6	21.9	22.2	↘ 21.3	↘ 18.3
小売業	20.2	27.4	15.6	19.4	↗ 20.8	↘ 17.5
建設業	29.6	26.6	26.9	23.4	↗ 30.5	↘ 25.0
建築業	22.9	17.5	18.4	17.5	↗ 18.8	↘ 15.2
土木業	43.5	41.7	37.9	33.3	↗ 44.4	↘ 37.0
サービス業	24.1	22.3	24.8	20.8	↗ 25.3	↗ 27.4
物品賃貸業	30.2	19.6	28.2	27.8	↘ 18.9	↗ 27.0
情報サービス業	23.6	30.6	27.7	18.8	↗ 28.9	→ 28.9
広告業	11.1	5.9	6.7	11.8	↗ 30.8	↘ 23.1

※ 設備投資実施率は、当期において設備投資を「行った」とする企業の割合。なお、来期については、設備投資計画が「ある」とする企業の割合。

※ 一般・精密機器は、日本標準産業分類上のはん用機器、生産用機器、業務用機器を指す。

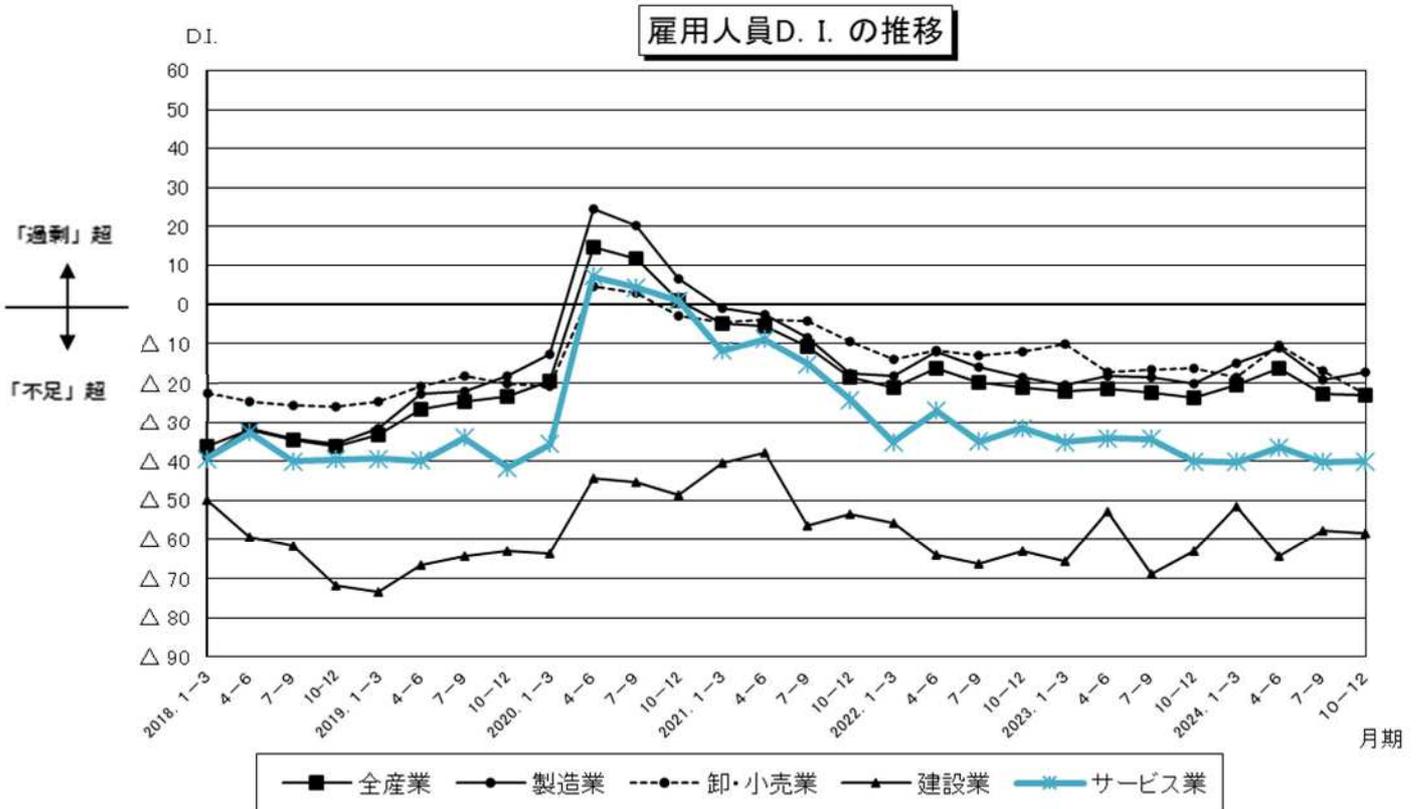


## 5 資金繰りD. I.

資金繰り D. I. 「好転」-「悪化」	業種	2023年10-12月期	2024年1-3月期	2024年4-6月期	2024年7-9月期	2024年10-12月期 (今期)	2025年1-3月期 (来期)
	全産業	△ 17.8	△ 20.7	△ 19.7	△ 19.3	△ 20.4	△ 22.0
製造業	△ 14.9	△ 21.0	△ 19.0	△ 20.4	△ 19.2	△ 21.1	
卸・小売業	△ 30.1	△ 24.4	△ 24.6	△ 21.9	△ 26.8	△ 25.9	
建設業	△ 14.1	△ 15.6	△ 9.0	△ 7.9	△ 18.3	△ 20.0	
サービス業	△ 10.4	△ 14.3	△ 19.8	△ 12.7	△ 13.8	△ 20.0	

## 6 雇用人員D. I.

雇用人員 D. I. 「過剰」-「不足」	業種	2023年10-12月期	2024年1-3月期	2024年4-6月期	2024年7-9月期	2024年10-12月期 (今期)
	全産業	△ 23.8	△ 20.5	△ 16.3	△ 22.9	△ 23.1
製造業	△ 20.1	△ 14.9	△ 10.9	△ 19.3	△ 17.2	
卸・小売業	△ 16.2	△ 18.7	△ 10.4	△ 16.9	△ 22.9	
建設業	△ 62.9	△ 51.6	△ 64.2	△ 57.8	△ 58.3	
サービス業	△ 40.0	△ 40.2	△ 36.4	△ 40.2	△ 40.0	



## 7 金融機関の貸出態度D. I.

貸出態度 D. I. 「緩い」-「厳しい」	業種	2023年10-12月期	2024年1-3月期	2024年4-6月期	2024年7-9月期	2024年10-12月期 (今期)
	全産業	4.5	4.0	3.4	1.4	0.7
	製造業	5.3	5.8	5.7	1.2	0.5
	卸・小売業	△ 0.8	△ 4.3	△ 5.7	△ 4.6	△ 2.4
	建設業	2.8	12.5	13.4	20.3	11.7
	サービス業	12.5	5.8	2.2	5.4	2.4

## 8 価格の動向

### (1) 販売価格D. I.

販売価格 D. I. 「上昇」-「低下」	業種	2023年10-12月期	2024年1-3月期	2024年4-6月期	2024年7-9月期	2024年10-12月期 (今期)
	製造業	29.4	22.5	30.3	24.7	25.3
	卸・小売業	46.1	39.7	41.1	42.4	42.6
	サービス業	△ 6.2	1.8	8.2	5.0	3.2

### (2) 仕入価格等D. I.

仕入価格等 「上昇」-「低下」	業種	2023年10-12月期	2024年1-3月期	2024年4-6月期	2024年7-9月期	2024年10-12月期 (今期)
主要原材料 価格D. I.	製造業	78.9	70.1	78.7	73.0	71.6
仕入価格 D. I.	卸・小売業	81.5	85.1	83.8	78.8	81.2
主要資材 価格D. I.	建設業	74.6	82.8	80.6	76.6	81.7

## 9 設備稼働状況D. I.

設備稼働 状況D. I. 「上昇」-「低下」	業種	2023年10-12月期	2024年1-3月期	2024年4-6月期	2024年7-9月期	2024年10-12月期 (今期)
	製造業	△ 16.9	△ 29.8	△ 26.4	△ 23.1	△ 23.7

## 10 顧客（受注先）数D. I.

顧客数 D. I. 「増加」-「減少」	業種	2023年10-12月期	2024年1-3月期	2024年4-6月期	2024年7-9月期	2024年10-12月期 (今期)
	サービス業		△ 11.5	△ 9.9	△ 9.2	△ 7.9

## 11 在庫水準D. I.

在庫水準 D. I. 「過剰」-「不足」	業種	2023年10-12月期	2024年1-3月期	2024年4-6月期	2024年7-9月期	2024年10-12月期 (今期)
	製造業		10.2	14.9	11.8	11.1
卸・小売業		17.1	10.4	14.1	8.6	9.4

## 12 経営上の問題点

<調査方法>以下の項目から、2つまで選択。

### 【製造業】

- ・売上の不振
- ・原材料高
- ・金融費用の増加
- ・資金繰り難
- ・人手不足
- ・人件費の増加
- ・製品安・値下げの要請
- ・エネルギー費用の増加
- ・その他

### 【卸・小売業】

- ・売上の不振
- ・仕入価格の上昇
- ・金融費用の増加
- ・資金繰り難
- ・人手不足
- ・人件費の増加
- ・大型店・新業態の小売店進出
- ・店舗の狭小老朽化
- ・その他

### 【建設業】

- ・受注の不振
- ・資材高
- ・金融費用の増加
- ・資金繰り難
- ・人手不足
- ・人件費の増加
- ・受注単価引き下げ要請
- ・その他

### 【サービス業】

- ・売上の不振
- ・外注コスト増
- ・金融費用の増加
- ・資金繰り難
- ・人手不足
- ・人件費の増加
- ・受注単価引き下げ要請
- ・新規参入増
- ・その他

業種	2024年4-6月期(前々期)		2024年7-9月期(前期)		順位	2024年10-12月期(今期)	
	項目	割合	項目	割合		項目	割合
製造業	原材料高	57.1%	原材料高	48.9%	1位	原材料高	53.1%
	売上の不振	45.6%	売上の不振	45.5%	2位	エネルギー費用の増加	43.5%
	人件費の増加	32.6%	人件費の増加	35.2%	3位	売上の不振	33.6%
卸・小売業	仕入価格の上昇	56.6%	仕入価格の上昇	54.1%	1位	仕入価格の上昇	55.4%
	売上の不振	52.8%	売上の不振	52.5%	2位	売上の不振	49.5%
	人件費の増加	27.2%	人件費の増加	30.2%	3位	人件費の増加	25.2%
建設業	資材高	65.7%	人手不足	53.1%	1位	資材高	66.1%
	人手不足	61.2%	資材高	51.6%	2位	人手不足	52.5%
	人件費の増加	31.3%	人件費の増加	32.8%	3位	受注の不振	32.2%
サービス業	売上の不振	42.3%	売上の不振	45.8%	1位	売上の不振	44.0%
	人出不足	34.0%	人件費の増加	34.4%	2位	人手不足	36.3%
	人件費の増加	33.0%	人手不足	33.3%	3位	人件費の増加	31.9%

※ 本調査は9つの項目から2つまでを選択する設問のため、回答の合計は100%を超える。

### 13 行政が今後強化すべき支援策

<調査方法> 以下の項目から、3つまで選択。

- ・金融支援
- ・経営指導・相談
- ・技術開発・指導
- ・下請適正取引の推進
- ・省エネ支援
- ・雇用維持支援
- ・人材確保支援
- ・人材育成支援
- ・その他

業種	順位	2024年4-6月期(前々期)		2024年7-9月期(前期)		2024年10-12月期(今期)	
全産業	1位	金融支援	42.8%	金融支援	42.1%	金融支援	43.5%
	2位	人材確保支援	40.8%	雇用維持支援	41.7%	人材確保支援	41.8%
				人材確保支援			
3位	雇用維持支援	39.1%	下請適正取引の推進	32.3%	雇用維持支援	41.2%	
製造業	1位	人材確保支援	40.7%	雇用維持支援	42.4%	雇用維持支援	42.0%
	2位	金融支援	39.4%	人材確保支援	41.4%	金融支援	40.5%
	3位	下請適正取引の推進	38.4%	下請適正取引の推進	40.4%	下請適正取引の推進	39.5%
卸・小売業	1位	金融支援	56.6%	金融支援	54.2%	金融支援	56.5%
	2位	雇用維持支援	36.1%	雇用維持支援	39.4%	人材確保支援	36.8%
	3位	人材確保支援	30.6%	人材確保支援	35.2%	雇用維持支援	36.4%
建設業	1位	人材確保支援	72.7%	人材確保支援	63.5%	人材確保支援	67.8%
	2位	雇用維持支援	56.1%	雇用維持支援	41.3%	雇用維持支援	49.2%
	3位	人材育成支援	42.4%	人材育成支援	34.9%	金融支援	35.6%
サービス業	1位	人材確保支援	42.7%	人材確保支援	45.6%	人材確保支援	54.9%
	2位	雇用維持支援	41.7%	金融支援	44.4%	雇用維持支援	41.8%
	3位	金融支援	40.6%	雇用維持支援	43.3%	金融支援	38.5%

※ 本調査は9つの項目から3つまでを選択する設問のため、回答の合計は100%を超える。

## 【トピックス調査】

### <価格転嫁の影響>

#### 1 価格転嫁の状況

業種	価格転嫁の状況					
	全くできていない (2割未満)	2割以上5割未満	5割以上8割未満	8割以上	分からない	価格転嫁の 必要がない
全産業	18.4% (17.0%)	24.0% (25.0%)	23.8% (24.8%)	20.2% (20.0%)	8.1% (8.3%)	5.5% (4.9%)
製造業	19.2% (16.6%)	24.0% (27.6%)	28.2% (27.6%)	19.0% (18.1%)	7.0% (6.9%)	2.6% (3.2%)
卸・小売業	13.3% (17.3%)	23.7% (21.8%)	20.9% (22.6%)	27.5% (28.0%)	8.4% (6.6%)	6.2% (3.7%)
建設業	13.3% (8.2%)	26.7% (19.7%)	10.0% (23.06%)	26.7% (19.7%)	13.3% (21.3%)	10.0% (8.1%)
サービス業	28.6% (24.5%)	23.1% (18.4%)	12.1% (12.2%)	6.6% (13.3%)	10.9% (14.3%)	18.7% (17.3%)

※カッコ内は前回調査（2024年7月～9月期）

#### 2 価格転嫁が「全くできていない（2割未満）」あるいは「2割以上5割未満」の場合、価格転嫁が進まない理由

業種	取引への悪影響を恐れて価格交渉の申し出ができなかった	取引先へ価格交渉を申し出たが、交渉自体に応じてもらえなかった	取引先と価格交渉を行ったが、満足のいく結果にならなかった	取引先との交渉方法がわからない	消費者から理解が得られ難い	その他
全産業	28.6%	8.4%	40.0%	3.0%	13.5%	6.5%
製造業	28.5%	9.7%	45.1%	3.2%	7.2%	6.3%
卸・小売業	25.6%	9.0%	24.4%	2.6%	33.3%	5.1%
建設業	12.5%	4.2%	41.7%	4.2%	25.0%	12.4%
サービス業	41.2%	2.0%	35.3%	2.0%	11.8%	7.7%

## <テレワークの導入意向>

### 1 テレワークの導入状況

業種	テレワーク導入状況		
	導入済み	今後、導入したい	導入の予定なし
全産業	17.5%	4.2%	78.3%
製造業	14.6%	3.8%	81.6%
卸・小売業	16.2%	4.4%	79.4%
建設業	15.9%	7.9%	76.2%
サービス業	36.2%	3.8%	60.0%

### 2 テレワークの導入予定が無い場合、その理由

業種	順位	テレワークの導入について、「予定なし」と回答した理由		
全産業	1位	対象業務が限定的	57.5%	
	2位	適正な労務管理	18.9%	
	3位	導入効果	15.8%	
	製造業	1位	対象業務が限定的	61.4%
		2位	適正な労務管理	18.8%
		3位	導入効果	14.9%
	卸・小売業	1位	対象業務が限定的	47.7%
		2位	社員間のコミュニケーション	20.5%
		3位	適正な労務管理	18.9%
	建設業	1位	対象業務が限定的	64.1%
		2位	導入効果	25.6%
		3位	適正な労務管理	23.1%
	サービス業	1位	対象業務が限定的	46.8%
		2位	情報セキュリティの確保	36.2%
		3位	適正な労務管理	17.0%
導入効果				
	導入・運用コスト			

<調査方法>以下の項目から3つまで選択。

- ・情報セキュリティの確保
- ・適正な人事評価
- ・導入効果
- ・社員間のコミュニケーション
- ・対象業務が限定的
- ・導入・運用コスト
- ・適正な労務管理
- ・テレワークに対応した労務管理
- ・その他

## 【調査の概要】

- 1 調査時期 2024年12月1日から12月10日まで
- 2 調査対象期間 実績 ----- 2024年10～12月期  
見通し ----- 2025年1～3月期
- 3 調査内容
  - 業況判断、売上、資金繰り、販売価格、主要原材料価格、仕入価格、主要資材価格、設備の稼動状況、顧客数及び在庫水準については、前年同期との比較。
  - 採算、設備投資、雇用人員及び金融機関の貸出態度については、当期の実績。

### 4 指数化の方法

D. I. : 業況判断指数 (ディフュージョン・インデックス)

- 業況判断D. I. ----- 前年同期と比べて総合的な景況判断が「好転」したとする企業の割合から、「悪化」したとする企業の割合を差し引いた値。
- 売上D. I. ----- 前年同期と比べて売上が「増加」したとする企業の割合から、「減少」したとする企業の割合を差し引いた値。
- 採算D. I. ----- 当期採算が「黒字」とする企業の割合から、「赤字」とする企業の割合を差し引いた値。
- 設備投資実施率 ----- 当期において設備投資を「行った」とする企業の割合。
- 資金繰りD. I. ----- 前年同期と比べて資金繰りが「好転」したとする企業の割合から、「悪化」したとする企業の割合を差し引いた値。
- 雇用人員D. I. ----- 当期において雇用人員が「過剰」であるとする企業の割合から、「不足」であるとする企業の割合を差し引いた値。
- 金融機関の貸出態度D. I. -- 当期において金融機関の貸出態度が「緩い」とする企業の割合から、「厳しい」とする企業の割合を差し引いた値。
- 販売価格D. I. -----
- 主要原材料価格D. I. -----
- 仕入価格D. I. -----
- 主要資材価格D. I. -----
- 設備の稼動状況D. I. -----
- 顧客数D. I. ----- 前年同期と比べて顧客数が「増加」したとする企業の割合から、「減少」したとする企業の割合を差し引いた値。
- 在庫水準D. I. ----- 前年同期と比べて在庫水準が「過剰」であるとする企業の割合から、「不足」であるとする企業の割合を差し引いた値。

(注) ・各指数の表示の合計は、端数により100%とならない場合がある。

・業種によっては、サンプル数が少ないことから、結果に偏りが生じる可能性があることに留意する必要あり。

### 5 対象企業

以下の基準に該当する愛知県に本社を置く企業から無作為抽出。

- 製造業・建設業 -- 資本金3億円以下又は従業員300人以下
- 卸売業 ----- 資本金1億円以下又は従業員100人以下
- 小売業 ----- 資本金5千万円以下又は従業員50人以下
- サービス業 ----- 資本金5千万円以下又は従業員100人以下

### 6 調査回答状況

区分	全産業	製造業	卸・小売業	建設業	サービス業
標本企業数	2,000社	1,230社	470社	100社	200社
回答企業数	1,021社	623社	235社	66社	97社
回答率	51.1%	50.7%	50.0%	66.0%	48.5%
(前回)	56.4%	57.2%	54.0%	67.0%	51.0%

本資料は、産業政策課のWebページ(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/sangyo-seisaku/keikyo.html>)で御覧いただけます。